

2年	単元名	だいじなことばに気をつけて読み、分かったことを知らせよう ～遊び方を紹介しよう～ (教材名：おにごっこ)
国語		

1. 単元の目標

- ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知(3)エ)
- ◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思C(1)カ)
- 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思C(1)ウ)
- 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う(学びに向かう力、人間性等)

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

- ・児童がみんなで行いたい遊びを図書の中から選び、目的意識を持って必要な情報を集めることができる。
- ・分かりやすく伝えるために、情報を取捨選択してまとめる。

3. 児童について(略)

4. 単元計画(全12時間 本時7/12時間)

時	内容
1	単元のめあてを設定し、学習の見通しをもつ。 ・今までしたことある遊びを想起する。 ・授業者が実際におにごっこのやり方を示すことで、教材文への興味を喚起する。 ・本を読んで遊びを調べる学習をすることを確認する。
2	伝えたいことを説明するために大事な言葉や説明の仕方について考える。 ・何を調べるのかを明確にする。言葉に着目する。
3	本文の問いを見つけて、第二段落の遊び方とそのおもしろさについてまとめる。 ・「てつぼうよりむこうににげてはだめ。」は場所の制限であることを確認する。
4	第3、4段落の遊び方とそのおもしろさについてまとめる。 ・「ほかに」から今までと違う遊び方があることに気づく。
5・6	第5段落の遊び方とそのおもしろさについてまとめる。 ・遊び方が工夫されたのは、みんなが楽しめるようにするためであることに気づく。
7(本時)	遊びを説明するために、本を読んで必要な情報を探し、大事な言葉を考える。 ・本でのしらべ方を確認する。 ・見付けた情報に付箋を貼る。 ・メモを取る。
8	遊びを紹介するために、本を読んで必要な情報を探し、大事な言葉を考え、メモを書き進める。 ・メモを完成させる。
9、10	相手に伝わるように、選んだ遊びの紹介の仕方を考えて、伝える。 ・紹介する事柄の順序を決める。
11	選んだ遊びを紹介し合う。 ・全員がみんなの前で一人ずつ紹介する。

12	本単元のまとめを行う。 ・「ふりかえろう」「たいせつ」
----	--------------------------------

5. 本時について

(1) 目標

遊びを紹介するために、本を読んで必要な情報を探したり、大事な言葉を考えたりすることができる。

【思考・判断・表現】

(2) 展開

学習活動	授業者の支援
1. 単元全体の問いの確認	
しょうかいしたいあそびについて本をつかってしらべよう。	
2. 本でのしらべ方を見る。 ・知りたいことをたしかめて読む。 (遊びの名前、遊び方、本の題名) ・分かったことなどをメモする。 ・あそびの名前と本の名前もメモする。	○児童が興味をもつ内容を予め考え、関連する資料を集めておく。(担任・司書教諭・学校司書) ○ワークシートを用意する。 ○児童が1人1冊は手元に置いて調べることができるようにする。
3. どんな遊び方か気をつけながらくりかえし読む。 ・必要な情報に付箋を貼る。 遊びの名前・赤色 遊び方・・・・黄色 本の題名・緑色	○児童が主体的に考えることができるようにするために、自分が楽しめてみんなに紹介したい遊びを考えるという目的意識を確認する。 ○情報の種類に応じて付箋の色を変える。
4. 調べたことをメモする。 ・調べ方やまとめ方について困ったときは、友達や担任・学校司書に相談しながら調べる。 ・さらに必要な情報があれば、書き加える。	○児童が欲しい情報を全て書き写している場合は、書き方について具体的な例を示す。 必要な情報 人数 時間 範囲 用意するもの 注意事項等 簡条書き 遊び方、①〜〜 ②〜〜 ③〜〜
5. 本時のまとめを行う。	○遊びの名前、遊び方、本の題名が調べられたかを確認する。友達に紹介したい意欲を喚起する。

6 考察(成果や課題等)

書籍を用いて学習活動を行ったことや相手意識、目的意識をもって学習したことは、子どもたちが主体的に学習をしていく上で効果的であった。書籍が難しい場合もあり、平易なものを用意しておくことが必要であった。また、2年生15人で遊びを行うが、より全員が楽しめる工夫を考えられると良いと思った。学校司書とも打ち合わせを行い、一緒に毎時間学習ができたことは良い取り組みであった。